

組合員各位

南九州交通共済協同組合

南九共済「5月の事故防止テーマ」

「構内・駐車場は、おりて確認を励行」

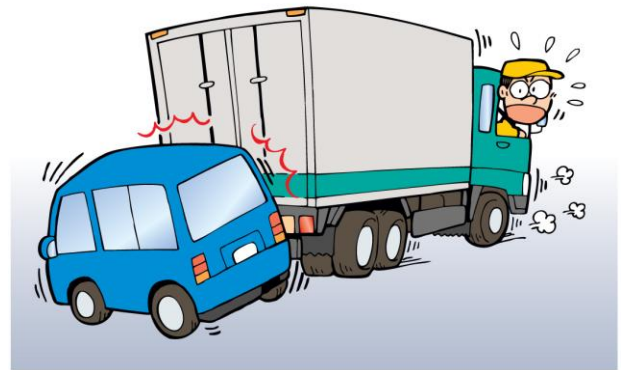
当組合で取り扱った交通事故のうち、約44%が構内・駐車場で発生しています。また、その半数以上が後退不適當による事故です。運転席からは見えているように見えていません。基本の「おりて確認」を徹底し、交通事故を防ぎましょう。

構内・駐車場事故はなぜ起きる～運転者の心理

- ・過信
公道ほど状況の変化が激しくない
人はほとんどいない、今まで事故が起きたことはない
- ・焦り
早く出発したい、早く帰りたい
- ・怠慢
知っている場所なので、大丈夫だ、定位置に駐車するので大丈夫だ
- ・安心感
やっと着いた、やっと帰れた、疲れた

構内・駐車場の安全習慣を身につける

- ・後退は必要最小限
できるだけバックしない方法を考える
- ・停止して駐車スペースの確認
見えなくなる死角を事前に見る
- ・安全確認してから発進、後退
降りて、一回り確認する
車は急に止まらない
- ・切り返して真っ直ぐバック
真っ直ぐバックが基本
自分の車両感覚は曖昧
左右の衝突リスクを無くす
- ・多段階停止・最後は2～3m手前で停止
見落としを補う
最後の安全確認



構内、駐車場事故はドライバーのちょっとした注意力と慎重さがあれば十分に防げる事故だということを、今一度、再認識することが大切です。

One point

3つの「間」で事故防止 ⇨ 時間を惜しまず、ひと手間かけて、空間を確認

今月の南九安全日（事故0を目指す）は、8日です。

【お問合せ】
安全推進企画課
TEL:096-369-0108